

# 2004年（第30回） 全国児童相談研究セミナーのご案内

基本テーマ

日本の子どもと児童相談

～子どもの生活と権利を守り、働きがいのある職場にするために～

日時 11月13日（土）～14日（日）

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター・センター棟  
（東京都渋谷区）

児相研の全国セミナーが30回を迎えました。オリンピックがアテネで開催されたように、全国セミナーも発祥の地・東京で開催されることになりました（それも東京オリンピックで使用したところからです）。

児童福祉法や虐待防止法の法改正が矢継ぎ早に行われています。しかし、児童相談の現場では「ただ忙しくて何がどうなっているのか分からない」「他ではどうやっているんだろう」「児童相談所の仕事が市町村におりてくるといいうけど、やれるんだろうか」など、バラバラな実態が浮き彫りにされています。とめどない少子化の進行や社会福祉のパラダイム転換といわれる中で、私たちの仕事はどうなっていくのでしょうか。

このセミナーは、原点に立ち戻って自分たちの仕事を見つめ直す機会にしたいと願っています。児童相談の実践を交流し合い、研究活動へのエネルギーに高め、誇りを持って働ける職場づくり、仲間づくりを考える機会になるように願っています。

第30回児相研セミナー現地実行委員会

児相研セミナーは、次の5つの原則を踏まえて開催されてきました

- ・ 私たちは、自分たちの意志と責任においてセミナーを開催する。
- ・ 私たちは、権利の主体者としての子どもと、子どもにかかわる者たちが抱えているいろいろな問題を、権利保障の視点からとらえる。
- ・ 私たちは、現場の実践を発展させる方向で研究をすすめる。それによって、現状を変革する基本的な考え方を打ち出せるようにする。
- ・ 私たちは、子どもにかかわり、子どもの権利に関心を持つ人々の参加のもとに、自由で平等な立場で討議する。
- ・ 私たちは、子どもの養育者、児童福祉機関、施設、地域住民、研究者など、子どもをとりまく各分野の人たちとの協働関係を広げ、幅広い研究活動を行う。

主催 全国児童相談研究会、第30回児相研セミナー現地実行委員会



1. 日程

	9:30	12:00	13:00	13:30	15:00	16:00	17:30	18:00	20:00
第1日		受付	開会 基調報告	記念講演	シンポジウム	総会	懇親会		
第2日		分科会	昼食	分科会					

2. 内容

【第1日目】 11月13日(土)

基調報告 川崎 二三彦 全国児相研事務局長 (京都府宇治児童相談所)

記念講演 「学ぶよろこびと命へのまなざし」

松崎 <sup>みち</sup>運之助 東京都足立区立第四中学校夜間部

日本中に「学ぶ」ことの意味を問いかけた山田洋次監督の映画「学校」で西田敏行が演じた主人公のモデルです。著書:「人生一わが街の灯」「学校」他

座談会 「児童相談のこれまで、これから—激動の児相研 30年を振り返る」

発言者: 竹中 哲夫 日本福祉大学  
 団 士郎 仕事場 D・A・N  
 高戸 宣人 山梨県中央児童相談所  
 立松 照康 名古屋市児童相談所  
 司 会: 櫻谷 真理子 立命館大学

児相研は設立 30 年を迎えました。児童相談所職員の苦悩と課題を語りあう場として発足し、一時保護所職員殺害事件・オウム真理教問題・児童虐待問題等、時の課題に対して真正面から取り組んできました。児童虐待防止法改正、児童福祉法改正論議の中、児相研の歴史を振り返り、明日の児童福祉のあり方を探ります。

【第2日目】 11月14日(日)

第1分科会 「児童福祉法・児童虐待防止法、改正後の児童相談所はどう変わるか」

シンポジスト: 吉田 恒雄 駿河台大学  
 川崎 二三彦 京都府宇治児童相談所  
 坂入 健二 葛飾区青砥子ども家庭支援センター  
 司 会: 竹中 哲夫 日本福祉大学  
 企 画: 春日 勉 川崎市中央児童相談所

児童虐待防止法が改正され、児童福祉法の改正も…。法改正は、様々な問題を児童相談の現場に突きつけています。昨年の静岡大会の論議を発展させる分科会です。児童相談所と市区町村の現場からの発言を踏まえ、参加者と共に考えたいと思います。

第2分科会 「非行問題への対応のあり方を考える」

講演者: 荒木 伸治 立教大学  
 印出井 達夫 東京都北児童相談所  
 企画兼司会: 清水 幸雄 東京都小平児童相談所  
 山谷 秀昭 東京都品川児童相談所

児童が加害者あるいは被害者となる重大な事件が社会問題となっています。出会い系サイト、電子メールをめぐる事件など問題の質も変化しています。児童相談所への通告を短時間に家庭裁判所へ送致することも多く、その是非を問う声もあります。第一部は講演により、第二部は各地からの報告を元にしながら、非行問題への対応について考えあいます。



### 第3分科会 「里親活動活性化のための支援を考える」

話題提供者：	岡田 崇弘	茨城県福祉相談センター鹿行児童分室
	山本 節子	東京都養育家庭
	菊池 緑	養子と里親を考える会
	森 和子	流通経済大学
	清水 三和子	神奈川県里親会
	勝見 初恵	京都府京都児童相談所
企画兼司会：	佐藤 隆司	神奈川県相模原児童相談所

里親制度の充実には社会的養護を考える上で必要不可欠なことです。昨年の静岡大会の続編として今回はスタート時より本題に入り、里親の求める支援体制を考え、また、児童相談所の創意工夫する里親研修、里親登録等を意見交換します。なお、分科会は講演あり、パネルディスカッションありの変化のある盛りだくさんの内容です。

### 第4分科会 「保護所で見出したいもの—新たなスタートへのきっかけ作り」

シンポジスト：	橋本 舞	東京都足立児童相談所
	諏訪 紀代	川崎市中央児童相談所
	井上 良純	三重県中央児童相談所
助言者：	小田 東雄	元・東京都職員
企画兼司会：	浦 雅紀	川崎市中央児童相談所
	竹折 富美子	東京都足立児童相談所

現在、保護所はどこでも多岐にわたる入所理由の子どもたちで溢れています。そんな状況の中でも子どもたちが自分や家族と向き合いながら、次へのスタートを見つけて欲しいと職場では日々奮闘しています。大人がどう関わり、そして保護所をどう改善していくかを保護所職員及び関連する他職種の立場から報告を受け学びあいたいと思います。

### 第5分科会 「虐待防止市町村ネットワークについて」

シンポジスト：	佐伯 裕子	三鷹市子ども家庭支援センター
	村瀬 修	静岡県中央児童相談所
	富田 洋子	東京都福祉局少子社会対策部
企画兼司会：	中林 久人	東京都児童相談センター

市町村ネットワークには、虐待の早期発見・早期対応、見守り、予防まで多くのものが求められています。しかし、その活動内容はバラバラで、各地の差も大きいと言われます。実態の交流と今後について考えあいます。児童相談所との連携の実態や実践の交流のなかから、今後の課題を探ります。

### 第6分科会 「“親子再統合”のあり方考える」

シンポジスト：	櫻谷 真理子	立命館大学
	加藤 吉和	東京都児童相談センター
	高橋 朝子	児童養護施設調布学園
	鈴木 祐子	二葉乳児院
企画兼司会：	増井 陽子	東京都墨田児童相談所
	大須賀 力	横浜国際福祉専門学校

親子分離して施設に入れた子どもを家庭に戻すために、“親子再統合”の取り組みが盛んになっています。“親子再統合”をどう考え、どのようなプログラムで進めるのかということは、家庭や親子のあり方を考えることでもあります。実践を交流し、今後の課題を考えあいます。

### 第7分科会 「対応に困難を覚える子どもへの支援のあり方を探る」

シンポジスト：	高山 恵子	NPOえじそんくらぶ
	枝久保 達夫	埼玉県川越児童相談所
	長田 由貴子	児童養護施設いわつき
	小村方 正	児童自立支援施設埼玉学園
企画兼司会：	古谷 高子	埼玉県川越児童相談所

高山さんから「ADHDの理解と支援のために」という講義を受けた後、特に施設現場の子どもたちに、虐待・不適切な養育状況と合わせてADHD等の軽度発達障害に重なる問題が隠れていることを踏まえ、その支援のあり方考えます。



### 3. 参加費

	一般参加者	児相研会員	学 生
2日参加	8,000円	7,000円	4,000円
1日参加	4,000円	3,500円	2,000円

1日目夜の懇親会費は6,000円。

2日目の昼食はセンター棟レストランふじとなります。料金は540円です。

### 4. 申込方法

※ 参加申込書に必要事項を記入の上、下記事務局宛てに郵送してください。その際、朱書きで「児相セミナー申し込み書」と記入のこと。締め切りは10月15日（金）です。同職場で申込者が複数の場合、参加申込書をコピーして個別にご記入ください。

※ 参加申込書送付後、参加費・懇親会費・昼食代は、下記口座に10月29日（金）迄に送金をお願いします。送金に際し、現金書留はお止めください。またセミナー当日、会場受付では現金の扱いは必要最小限に留めたいと思います。どうぞ事前送金を期日厳守でお願いします。

※ 分科会は可能な限り、皆様のご希望通りに参加していただく予定です。しかし、会場の定員の都合によりご希望に添い切れない場合もありますので、必ず第2希望をご記入ください。

※ お問い合わせは、業務の関係上、できるだけEメールでお願いします。

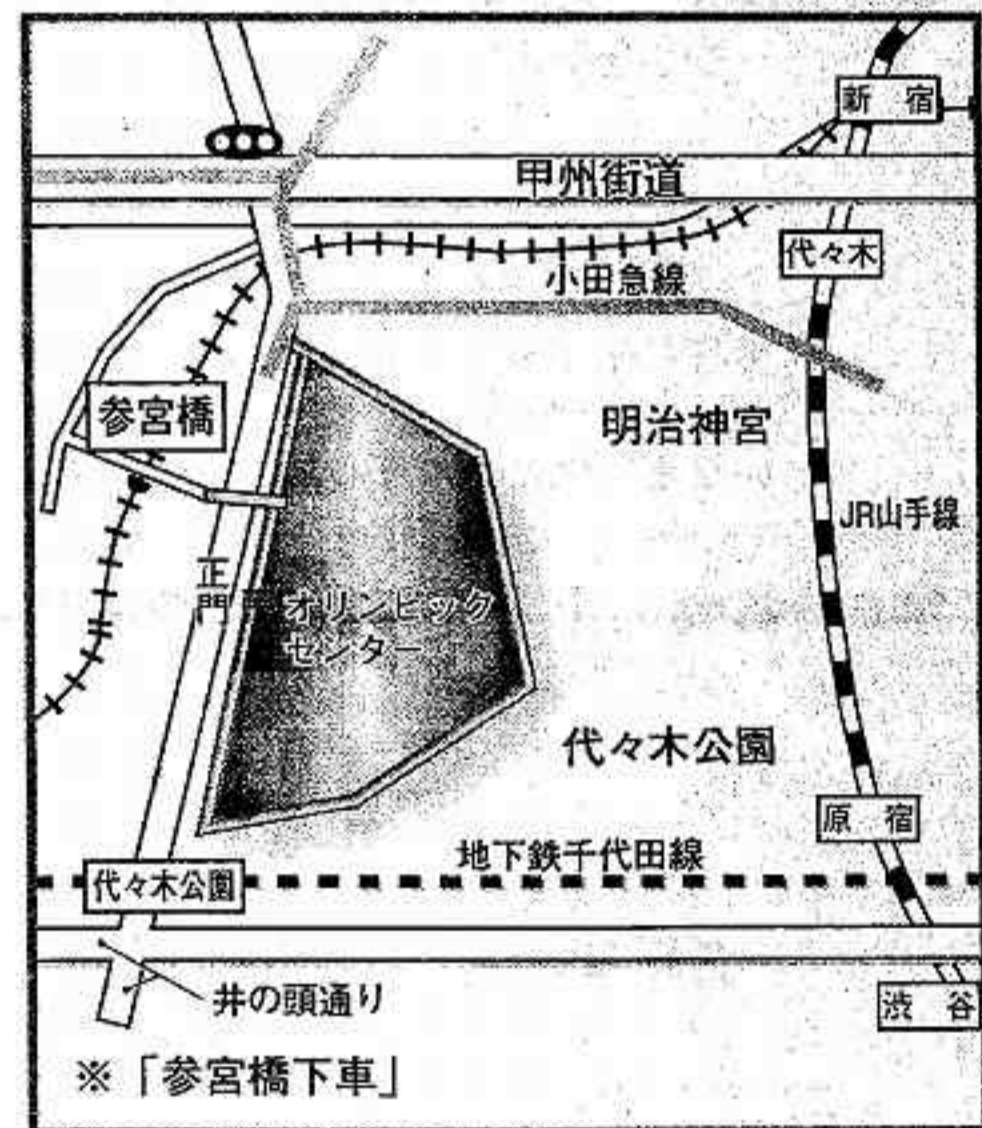
### 5. 宿泊について

宿泊は各自で手配くださいますようお願いいたします（なお、会場となるオリンピック記念青少年総合センターの宿泊施設は、すでに満室となっております）。

### 6. 会場案内

国立オリンピック記念青少年総合センター  
東京都渋谷区代々木神園町3番1号  
TEL: 03-3467-7201

- 東京駅  
JR中央線新宿駅乗り換え  
小田急線（普通電車）参宮橋駅下車徒歩8分
- 羽田空港  
東京モノレール浜松町駅乗り換え  
または京急本線品川駅乗り換え  
JR山手線 新宿駅乗り換え  
小田急線（普通電車）参宮橋駅下車徒歩8分
- 地下鉄千代田線  
代々木公園駅下車徒歩10分



### 【児相研セミナー現地実行委員会事務局】

〒114-0002  
北区王子6-1-12  
東京都北児童相談所内  
川松 亮 あて  
TEL: 03-3913-5421  
FAX: 03-3913-9048  
E-mail:  
Akira\_Kawamatsu@member.metro.tokyo.jp

### 【銀行振込口座】

口座番号: みずほ銀行蒲田支店 店番197  
普通預金 8188943  
口座名: 第30回児相研セミナー会計 松山京子